

## 令和5年度第1回神戸市市民福祉調査委員会計画策定・検証会議 議事要旨

- 日 時 令和5年11月21日(火) 午後1時～午後2時
- 場 所 神戸市役所1号館8階 福祉局大会議室・オンライン
- 議 題 “こうべ”の市民福祉総合計画2025 検証評価結果について(令和4年度評価)  
事務局より資料に基づいて説明
- 主な意見
  - ・ヒアリングにおいては、誰が話を聞いたのかということや、どういう説明をしたのか、どういう空間で話を聞いたのかといったことが、回答内容にも影響するので重要である。
  - ・子育て関係の施策を押し出している中で、こどものことが全く出てこない。こどもを含めた地域共生が大事だと思うので、お年寄りや障害を持っている方なども含め、すべての方が関わる内容を目標に取り入れてほしい。
  - ・高齢者等への支援が中心になっているが、こども達はどう思っているかを聞くことも必要だと思うので、来年度は、こどもや若者のことを対象とするべきではないか。
  - ・様々な取組みに携わる市民の方を元気づけることができ、広報としても使用できるような市民や大学生向けの資料にまとめても良いのではないか。
  - ・外国人の方をターゲットにまとめており良い報告書だと思う。大きな課題だけでなく取りこぼしやすい課題に注目しているのは大きな意味があると思う。
  - ・量的指標の評価について、経年のデータ推移があればより良い。また、目標値が掲げられている項目と掲げられていない項目があるので、整合性も含めて統一した方が良い。
  - ・包括的な相談支援体制をどうするかというのが国全体の課題となっているので、この視点をもう少し強化してほしい。
  - ・次期計画の目標として、こどもの目線を取り入れたり、就職氷河期世代の中高年の問題も大きくなってくるので、40～50代の生活、孤独・孤立についても取り入れたりすると良い。
  - ・40～50代の意見が少ないと感じた。今回のヒアリングにはなかったが、主任児童委員のなり手が不足しているため、民生委員・主任児童委員の広報をもっと行うことが必要である。
  - ・区役所の心配ごと相談において、若い方からも生活が苦しい等の相談があるので、こうした相談ができることを周知するためにも、若い方の声を拾えば良いと思う。
  - ・こども食堂やコミュニティ食堂において、自分が役に立てることを実感される方がたくさんいると思うので、そのような場所の数や内容などの取組みを調査してほしい。